

質 仲田 豊
会合は開いていますか。

答 副村長 池宮城秀光
昨年は2回開催し方針案、各保育所のアンケート検討今後のスケジュール等について検討してまいりました。

質 仲田 豊
いつ頃から民営化に移るのか。

答 村長 (志喜屋文康)
検討委員会で村民の意見も聞き今年一年間議論を踏まえ、いつの時点で民営化にしたほうがいいのか検討したい。

質 仲田 豊
恩納バイパスが間もなく供用開始になり新たな動きが想定されますと述べておりますが、その想定を伺います。

答 村長 (志喜屋文康)
隣接する集落の大半が通過型となり商店等の売上が落ち、事業所への影響がわかってないことが想定され懸念しているところです。

質 仲田 豊
現在国道と調整しています。

全面開通で経済に与える影響は大きいと考えるがどう対応されるか。

答 村長 (志喜屋文康)
村興し協議会、村内事業所とおしイベントの開催、全島ハリー大会、トライアスロン、やちむん市とか事業推進に対する協力等を図って誘客できるよう考えております。

山内鈴子 議員

葬祭場建設問題について

質 山内鈴子
葬祭場経過状況についてお伺いします。

答 村長 (志喜屋文康)
沖縄北部振興で、特定防衛施設周辺整備調整交付金、地域活性化経済危機対策臨時交付金を充てて平成16年から敷地選定、平成18年に造成実施計画、平成19年に造成工事着手、21年建設の本体工事着手、22年2月完了、4月業務開始

という経緯です。

質 山内鈴子
当時の大城村長が国道バイパスの工事現場から残土を搬入し、敷地面積を確保したと聞いているのですがどう思っているのか。

答 村長 (志喜屋文康)
現在地に赤土を入れたということについては、そうだったかも知れません。

質 山内鈴子
火葬場からの煤煙等の問題に対して、谷茶、南恩納地区住民に対してどのように説明をされたか。

答 企画課長 佐渡山安正
平成16年に火葬場建設対策委員会に諮問行い、村の中央部でもあるという条件等南恩納区に対し2回ほどご説明いたしました。地域の理解を得て今の場所が選定された経緯です。

質 山内鈴子
今後の葬祭場の運営管理の見解を伺います。

答 村民課長 (仲西智直)

現在運営している状況で対応していきます。

質 山内鈴子
斎場の受付状況についてお伺いします。

答 村民課長 (仲西智直)
現在火葬場の利用は296件、村内93件、村外201件です。葬祭場が全体で83件で、村内が78件、村外5件となっています。

質 山内鈴子
第2駐車場整備進捗状況はどのようになっているのか。

答 村民課長 (仲西智直)
国道残土の搬入等を調整し、その後検討します。

質 山内鈴子
残土がなければ第2駐車場は完成しないということ受止めていいんですか。

答 企画課長 (佐渡山安正)
第2駐車場と認識されている周辺のくぼ地と、今後国道バイパスから発生する残土をもって、第3駐車場として整備していきたいと

現在国道と調整しています。

吉山盛次郎 議員

選挙公報の制度化について

質 吉山盛次郎
条例制定について所見を伺いたい。

答 村長 (志喜屋文康)
立候補者は有権者に自分の政策を主張する重要な機会だと考えています。議員、選挙管理委員会含め議論する必要があります。

質 吉山盛次郎
もう一度伺いたい。

答 村長 (志喜屋文康)
議論を深めて導入に向けて検討していきたい。

村環境保全条例に係る用域の設定の解除について

質 吉山盛次郎

土地開発審議会の審議で用域審査後の利用目的変更後いかなる法的根拠が施行されているか。当該行政区の総意については考慮されて審査し決定がされているか。

答 企画課長 (佐渡山安正)
環境保全条例によって罰則を定める規定がございませんので法的処理を執行するのは困難な状況です。

質 吉山盛次郎
どこで歯止めをかけるか。

答 企画課長 (佐渡山安正)
今後、開発審議委員会の許可について考慮したい。

学校統合について

質 吉山盛次郎
進捗状況を伺います。

答 教育長 (石川哲夫)
幼稚園、小学校は統合しません。中学校は一つにしたい。統合を前提とした話し合いで進んでいると考えています。

赤間運動公園周辺整備及び利活用について

質 吉山盛次郎
野外運動場整備の効果を伺います。

答 村長 (志喜屋文康)
雨天時や真夏の暑い時高齢者のゲートボール一年中スポーツを通して健康づくり、観光の振興・産業まつり等の開催。大規模災害時の最終避難場所として位置づけでの予算折衝に入っていく。

質 吉山盛次郎
これからの周辺整備について

答 村長 (志喜屋文康)
全天候型陸上競技場に改修。駐車場整備。ウォーキングロードの整備。サッカー場、サブグラウンド観客席の整備。休憩所を設置。

質 吉山盛次郎
当該事業の財源措置を伺います。

答 村長 (志喜屋文康)
特定防衛施設整備調整交付金、地域活性化交付金などの活用。後

年のコスト低減については指定管理者制度の導入を考えていきたい。

宮崎 豊 議員

バイパス開通後の現国道の二輪規制について

質 宮崎 豊
仲泊地区が夜間の二輪車乗り入れを通行止めしている。それに習って旧道が暴走族対策としてこの機会に規制できないか。

答 村長 (志喜屋文康)
仲泊の場合は村道で可能になった。今の段階で国道事務所に確認すると、厳しいという返事であった。

バイパスへアクセスする村道の整備について

質 宮崎 豊
村道の安全対策の実施状況を伺います。

答 建設課 (古賀弘之)
交通量が増大すると予想される

村道は、2ヶ所改修工事を行っています。継続して交通安全施設の強化を図りたいと考えています。

伺います。

答 村長（志喜屋文康）

「恩納村第5次計画」の策定に関する基本的な考え方について

質 宮崎 豊

第2次振興計画、中短期行動計画その実績と進捗状況を伺います。

答 村長（志喜屋文康）

村の財政事情を考えながら事業メニューに合う事業も探しながらという中で、達成率として3〜4割程度であります。緑の回廊事業、排水クリーン事業、おすすめ風景20選、琉歌大賞バージョンアップ、海岸線の景観づくり、そしてそれに伴う雇用創出の促進など主にやっているのが現在の状況であります。

質 宮崎 豊

「第2回美ら島オキナワcentury」の効果「春や春おんなweekで楽しまナイト」の計画を

大城堅三 議員

消火訓練消火栓について

質 大城堅三

村内で行われている消火訓練状況を伺います。

答 総務課長（外間毅）

各行政区において日程調整を行い実施している。しかし、村全体の取り組みには今のところ至っていない状況です。今後村民の生命財産を守る観点から消防組合恩納分遣所と連携しながら、実施できるように取り組んでまいりたい。

質 大城堅三

ボックス型消火栓設置に関し、補助的メニューはないか、また問題点があれば伺います。

答 総務課長（外間毅）

消火の初期対応を迅速に行うため設置が望ましいと考えています。今後財源あるいは管理の問題等も含めまして自治会とも調整し検討したい。補助メニューについては

持ち帰って検討してまいりたい。

恩納バイパス供用開始について

質 大城堅三

恩納バイパス供用開始につき、アクセス道路の安全対策は検討されているか。

答 農林水産課長（大城哲夫）

3者国道事務所、村関係課、自治会で何回か話し合いがもたれ、その中で要望したと聞いていますし、国道さんに一報入れたら、今のところ計画はないが状況を見て検討したいということでした。村としても今後国道さんと協議していきたい。

質 大城堅三

交通量の予測数字があれば伺います。

答 農林水産課長（大城哲夫）

農道は机上の計算でないと国道事務所から連絡も受けている。ただ農道取り付け部に関しては、地

恩納通信所返還跡地利用について

質 又吉 薫

地域の土木建築あるいは建築機械リース業者また農水産物の地元活用の期待もあります。これから村長自らが全面に出て交渉を手伝う用意があるか。

答 村長（志喜屋文康）

人的支援につき、行政が出るべきところは行政が出て、地域への波及効果、地域振興を図る。

質 村長（志喜屋文康）

アンケート調査を実施し村民を対象にフォーラムの開催も計画している。

質 又吉 薫

計画策定に当たって議会の参加への期待あるいは要望等をお聞かせください。

答 村長（志喜屋文康）

地域の中で議員の立場を踏まえ提言をお願いし、意見交換等をやっていききたい。

質 又吉 薫

毎年の予算編成方針と長期総合計画との整合性はどうか。

答 村長（志喜屋文康）

各年度の事業計画を踏まえ、予算編成方針も作成し整合性を図る。

行財政運営について

質 又吉 薫

村民の行政ニーズは多様化しており効率的、効果的な行政サービスを提供しなければならない。新

質 大城堅三
今後幅員の拡張や整備の計画はあるのか。

答 農林水産課長（大城哲夫）

農道整備ということですが、農道として維持機能の面からして、拡張整備については計画しておりません。

又吉 薫 議員

「恩納村第5次計画」の策定に関する基本的な考え方について

質 又吉 薫

計画の策定に当たって、自己責任、自己決定、村民との情報の共有の観点から、村民と行政が協働で自前の計画を策定することが大切だ。村民参加のもと、意見を集約し参考にする考えがあるか。

議会の動き

3月

- 2日 金武地区消防衛生組合議会
- 3日 3月定例議会（開会）
- 17日 // （閉会）
- 19日 第18回ムーンビーチ「沖縄全島やちむん市」
- 23日 議会広報委員会
山田小中学校校舎改築工事安全祈願祭
- 24日 商工会役員との懇談会
- 25日 北部市町村議会議長会第4回定例総会（議長）
北部事務組合議会第37回定例会（議長）
- 28日 高校総体総会
- 30日 海の安全祈願祭
- 31日 事務調整、職員退職辞令交付式（議長）

4月

- 1日 職員辞令交付式（議長）
- 4・6日 事務調整（議長）
- 7日 中学校入学式
- 8日 小学校入学式
- 12日 事務調整（議長）
- 14日 事務調整（議長）
- 15日 村商工会青年部通常総会（議長）
広報委員会
- 21日 うんなまつり実行委員会総会（議長）
- 22日 広報委員会
鯉のぼり掲揚式 山芋植え付け
- 25日 事務調整（議長）
- 26日 村産業まつり実行委員会総会（議長）
村無縁墓地清明祭 商工会総会
- 28日 東日本大震災義援金造成実行委員会（議長）
県・市町村行政連絡会議（議長）
商工会青年部北部支部総会（議長）
- 29日 恩納バイパス開通式（議長）

5月

- 1日 鯉のぼりフェスタ（谷茶の丘）
- 6・9日 事務調整（議長）
- 10日 沖縄県町村議会議員・事務局研修会
- 13日 広報委員会
- 15日 安富祖校落成式
- 17日 議会運営委員会
- 19日 第4回臨時議会・消防広域化説明会
広報委員会
- 20日 東日本大震災義援金造成チャリティー
- 24日 北部市町村議会議長会第1回総会（議長）
- 25日 うんなまつり実行委員会（議長）

対策本部の動き

3月11日 14：46分	東北太平洋沿岸部にて地震発生 沖縄への津波到達時間予測17：40分
15：30分	恩納村災害対策本部設置 第1回緊急災害対策会議
15：30分	津波注意報発令 防災無線により村内一斉放送
15：40分 15：50分	津波警報発令 津波警報発令（一斉放送） （防災無線30分おきに放送する） ■各関係機関への避難要請
16：25分	志喜屋対策本部長より避難勧告発令、避難場所指定により避難勧告配置計画に基づき職員を配置、各課長、保健師は緊急時の対応のため配置計画を確認し全員待機
24：30分	警報が長期化することから課長、職員を一時自宅待機とし緊急時は即出勤できる体制を指示
3月12日（土）	
10：00	第2回災害対策会議 防災放送1時間に1回へ変更 避難状況、海岸線の巡回は継続
13：52分	気象庁より津波警報解除
14：30分	本部長より対策本部閉鎖の発令、海岸線への注意を行うよう村民への協力をお願いし業務完了する。

今後の防災対策について

今回の東北地方太平洋沖地震については、これまで想定していた数字を遥かに上回る状況から考えると、現行計画の避難施設や避難地、避難路、誘導等の総合的な防災計画の見直しが求められています。このようなことを踏まえて新たに策定する防災計画については、専門家や、自治会代表、村関係団体等から選定した委員で構成する検討委員会

取材を終えて

今後の災害への備えとして村民、一人一人のさらなる防災に対する意識向上と早めの対応また地域一体となった防災訓練等の取り組みが必要とされています。

記事担当委員 大城 堅三

万全か防災、災害対策？ 追跡

3月11日東日本で国内史上最大の地震が発生し、大津波が押し寄せ自然災害が起きました。議会の一般質問で地域防災対策が取り上げられています。そこで村の災害対策、防災計画と今回の大震災の対応状況等取材しました。

一般質問から

（平成22年3月）

現在の防災計画

質 地震による高齢者や障害者の避難場所への誘導について

答 各字担当職員を配置、区長と連絡を図り対応した。毎年総合防災訓練を実施しているが、訓練はいかされたか

質 消防と連携し自主防災組織、警防団を設置し地域防災、災害対策の訓練は行われている。

答 避難勧告と避難指示の在り方、今後の防災意識について

質 避難場所指定、避難方法は地域の協力を取り入れていきたい。また災害用備蓄食料の確保、各学校、関係先、海上保安庁との連携、連絡、要請等を課題として考えていきたい。

本村の防災計画は、沖縄本島中南部に大きな被害を与える可能性のある地震として、本島南西沖を震源とする地震の想定で10年前に策定されています。

地震の規模としてマグニチュード8.0震度5強～6弱を想定し、津波被害については地震発生後10分程度で到達し、海岸部では遡上高5mを超える所が多く浸水域は海岸線に沿って建設された住宅地域に大半に広がるものと想定しております。

津波警報による各地区の避難状況

地区	避難場所	非難人数	備考
伊武部	かりゆしホテル	2	19時帰宅
名嘉真	泉民の森	100	21時公民館へ移動
安富祖			
瀬良垣	セラホテル	100	22時公民館へ
太田	役場	33	23時帰宅
恩納	公民館	25	8人宿泊
南恩納	福祉センター赤間運動場	40	10人宿泊
谷茶	公民館	40	21時帰宅
富着	区民運動場	10	19時帰宅
前兼久	村営団地	20	20時帰宅
仲泊	土地改良地区	18	24時帰宅
山田	公民館	0	
真栄田	公民館	0	自宅待機
塩屋	農村公園	35	23時帰宅
宇加地	土地改良地区	20	19時帰宅
合計		443	



瀬良垣区の避難状況

災害用飲料水・食料の備蓄状況

飲料水（500ml） 2,688本
缶入りソフトパン 1,824個
（村の備蓄率は目標の40パーセント）

*食糧等備蓄計画では、備蓄目標を人口20分の1の3日分程度を目標として備蓄することになっています。

商工会との会 懇 談

村づくり 地域の振興

地域の総合経済団体である商工会役員と議会が、相互の理解や情報の共有化を図る目的で3月24日に懇談会を開催しました。その主な内容を紹介します。

○工事発注について

○大きい工事は、分離発注はできないか。

○最低制限価格の引き上げについて

○大学院や開発業者への働きかけはできないか。

○議会も一緒に要請をやれないか。



Q、山田校や平張ハウスなど、技術や

期間的な問題で外部発注となったが、実際どうなのか。

A、学校などの

工事は特に難しいものではない、地元でも可能だと思

○観光について

○芸能文化の発信

○おんなの駅の内海の遊歩道

○おんなの駅の時間延長は

○恩納村に遊ぶ拠点がない

○ライブ等、夕涼みの場所をつくれな

いか。

○恩納村の魅力をどう引き出すか。

Q、商工観光課との連携は

A、職員が少ない、苦情等は観光案内所あたりがやるべきで、行政は方向づけをすればよいのでは。

バイパスの開通に関して

○バイパス開通後の地域商店への影響について

○バイパス周囲の土地利用をどうするか

○その他の意見や要望

震災への対応について、温室効果ガスの削減活動への取組み、LEDへの転化、エコカー等の普及、赤間の商業的利用などがありました。

自治功労彰 議員2人を表彰

全国町村議会議長会長が表彰する自治功労彰に本村議会から27年以上在職の喜納正誠議員、15年以上在職の山城良一議員の2名の議員が長年にわたる議会活動を通じて地方自治の振興発展に功績があったとして表彰を受けました。



編集後記

東日本大震災により被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く復旧されますようお願い申し上げます。今回の記事では防災について追跡調査を掲載しました。私たちの村でもあらためて災害に備えて防災計画の見直しを迫られそうです。この震災を目の当たりにして、日本人の道徳心の高さ、誇り、そして人と人の絆の大切さを感じました。これまでどんな困難も乗り越え何度も立ち上がってきた日本。私たちはどこかでつながらりそして生かされている。

がんばろう東日本
がんばろう日本

編集長 長浜善巳

■発行：恩納村議会
住所：沖縄県国頭郡恩納村字恩納2451番地
■編集：議会広報委員会 電話 (098) 966-1199
メールアドレス：gikai@vill.onna.okinawa.jp